

## 議 事 録 （ 概 要 ）

件 名	第3回米子駅周辺活性化連携会議		
日 時	令和5年3月24日（金） 午前10時～午前11時45分	場 所	米子市立図書館2階 多目的研修室
出席者	別紙 出席者名簿のとおり		

### （協 議 概 要）

#### 【部会報告等】

(1) 駅周辺整備検討部会について（米子市から報告：資料1）

(2) 駅周辺活性化検討部会について（米子市から報告：資料1）

- ・質疑、意見なし。

(3) 米子駅周辺地域を中心としたまちの賑わいづくりに関する協定について（鳥取県から報告：資料2）

- ・皆さんから一言ずついただきたい。（県：吉村西部総合事務所長）

➡この締結は、県に強力なリーダーシップを発揮していただき、平井知事をはじめ、関係者が一堂に集って協定締結をできたということを感謝申し上げたい。今回結んでいただいた連携協定を基盤としながら、まちの賑わいづくりに向けて取り組んでいただける多くの皆さんで手を携えてまちづくりに取り組んでいきたい。（市：伊澤副市長）

➡協定では駅を中心としていて、非常にありがたいと思っている。公共交通の結節点は非常に重要だと思っており、MaaSという取り組みをしている。これができれば、関西や関東からより便利に来ることができるようになり、併せて観光の情報発信もしていきたい。（JR：和田副支社長）

➡この度の協定で、目的と目標が役割分担も含めてはっきりしたのではないかと思う。商工会議所としては、米子が賑やかで活気のあるまち、そして県域の中心となるまちとして、役割を果たすためにこの協定に全面的に協力していきたいと考えている。構想や計画段階から関わっていききたいと思っており、体制としても商工会議所の各部会や青年部も含めた形で横断的に関係事業者の意見も聞きながら、取り組ませていただきたい。（商工会議所：森田専務理事）

➡皆さんと連携して賑わいづくりあるいはまちの活性化、公共交通の活性化に取り組んでまいりたい。（県：吉村西部総合事務所長）

#### 【議事】

(1) 米子駅北広場整備について（米子市から報告：資料3）

- ・様々な制約があるが、まず第1期の整備に着手したい。部会でも検討を進めていたので、部会での意見を踏まえた内容になっていると思う。何かお気づきの点等があれば意見を伺いたい。

（市：伊澤副市長）

➡駅北と駅南の機能分担についての検討や横断歩道新設について、非常にありがたいと思う。コンビニエンスストア移転後に跡地を楽しく歩ける空間にするための検討について、非常に期待をしている。（県：吉村西部総合事務所長）

➡バスロータリーと支社ビル間の歩道の幅員を確保していただき感謝する。今後、待合室の形状等を検討していくことが必要だと思うが、時間帯によって非常に多くの流動があるので、

ぜひ歩きやすいものになればいいと思う。駅前ロータリーの横断歩道は極めて重要だと認識している。非常に機能的なものになると思う。(JR：和田副支社長)

## (2) がいなロード（南北自由通路）の供用開始に伴うイベントの開催について（米子市から報告：資料4）

- ・現在調整中ではあるが、イベント等を集中的に開催することで駅前周辺を中心に米子の賑わいづくりをしっかりと取り組むたいと考えている。各団体等におかれては、可能なイベントがあればぜひ相乗りあるいは開催していただくことを引き続き検討いただきたい。(市：伊澤副市長)
- ・4月の早い時期に様々な観光関係の方や地元の方に集まっていただけるような意見交換会の開催を予定している。それぞれ意見を伺いたい。(市：八幡総合政策部長)
  - ➡がいなロードができることにより、鉄道利用者にとって非常に機能的なものになる。特に南側の利用者からは非常に期待が高いと思う。せっかく南北が繋がるので、できれば南側の広場も活用したイベントをやっていただき、より多くの利用者や住民に活用していただけることをできればと思う。待合室についても今までにないような、よりゆっくりしていただけるようなものを作りたいと思う。(JR：和田副支社長)
  - ➡がいなロードの開通に合わせて、よなごバルを2週間程度連続してやりたいと思っている。今年は昨年以上に人を集めて、周辺店舗と一緒に、賑わいを作ってきたと思っている。(商工会議所：森田専務理事)
  - ➡現在、がいなロードの供用開始日をいつにするかの最終的な調整を行っている。令和5年4月の早い時期に発表できるように調整を進めている。(市：伊澤副市長)
  - ➡既存の支社ビルが3分の1程残っており、そのリニューアルの工事も進んでいる。60年前当時の色と同じにしたので、見ていただきたい。(JR：和田副支社長)
  - ➡現在仮設移転している米子市観光協会の国際観光案内所は、JRの新駅舎ビルの1階を活用させていただくことになる。多くの皆さん、特に観光客等をお迎えするにふさわしい、米子駅の新しい顔の1つになるようにしつらえていく。(市：伊澤副市長)

## (3) 米子駅周辺の活性化について

### ①だんだん広場について（米子市から報告：資料5）

- ・鳥取県との協議や議会の議決等、事前の手続きはほぼ整った。いよいよ4月1日をもって米子市が管理移管を受ける。市民に親しまれることは当然であるが、米子市の新しい顔である新米子駅、がいなロード、だんだん広場が一体となって機能し、賑わいづくりに価値を発揮するような使い方を米子市としてしっかりと取り組んでいきたい。(市：伊澤副市長)
  - ➡4月からぜひ有効に活用いただきたい。これからは市の新しい発想でいろいろな有効活用策を検討いただいたり、いろんな提案も各所からいただきながら、より一層賑わいづくりに資するように使っていただきたい。(県：吉村西部総合事務所長)
  - ➡だんだん広場は本当に良い場所にある広場だと思うので、イベントやライトアップ等はやっていけると思う。米子に来られた方が記念写真を撮って帰れるような、そういう場所になれば良いと思う。(商工会議所：森田専務理事)

### ②将来イメージについて（米子市から報告：資料6）

- ・URさんには大変わかりやすい資料を作ってください感謝申し上げます。多くの民間事業者、市民の皆さんの参画を得て、まちづくりを進めていく際に今回提示いただいた資料も参考にしながら

ら、米子市として、わかりやすいものを作っていきたい。(市：伊澤副市長)

➡良い資料を作ってください感謝申し上げます。今後新たな体育館ができたり、米子港周辺も開発が進もうとしている。西部総合事務所と市役所の新棟も秋に完成するので、今後また魅力を増していくところも掘り起こしつつ、その都度ブラッシュアップしていただきたい。(県：吉村西部総合事務所長)

➡海路や水路という新しい視点によって米子城や駅といったいろいろな場所が繋がるということが本当にありがたい案だと思う。また皆生も意識していただいている、ここをどう繋ぐかということが大きな問題なので、本当にいい資料だと思う。米子の市街地は周辺市町村からも集まる場所であるので、その辺も考慮していただきたい。(商工会議所：森田専務理事)

➡鉄道駅を入れていただきありがたい。境線はウォークブルに必須な機能だと思っているため、しっかり進めていきたい。また後藤駅や博労町駅、東山公園駅は高校生が非常に多く利用される駅であるため、学生の意見もいただきながら、より内容を深めていただきたい。(J R：和田副支社長)

### ③駅前通りの活性化に関する提言について(米子商工会議所青年部から報告)

・大変素晴らしい提言だと思う。基本的にはがいなロードや駅を中心として展開している歩いて楽しいウォークブルな整備等の効果を最大化するためのまちづくりの進め方という視点でのご提案だと思う。多くの関係者の皆さんと意見を交わしながら進めていく必要がある。(市：伊澤副市長)

➡非常に素晴らしい案だと思う。駅周辺に椅子とテーブルを置くだけで人が集ったり、購買意欲にも繋がると思う。がいなロード開通後は、南側の広場で降りて鉄道やバスをご利用いただく等、駅利用者の車の使い方も大きく変わると思う。(J R：和田副支社長)

➡ご提言ありがたいと思う。実際には交通渋滞等の課題もあるが災害時の道路でもあるため、いろいろなことを考えないといけない。できることはやりつつ、皆さんと引き続き議論を重ねていきたい。(県：吉村西部総合事務所長)

➡本当に貴重な提言をいただいた。また全国的な事例もしっかりと研究をしていただいていると思う。本市が掲げる、歩いて楽しいまちづくりについて非常に有効な方策の1つと考えるが、一方では交通渋滞等の課題も想定されるため、そのあたりは実証実験等を行うことと、提言にもある市民の皆さんのコンセンサスを得ることも必要だと思う。今後はすぐ実施できることや中長期的な検討が必要なこと等いろいろあると思うが、本市としてはまちづくりに活かしていきたい。(市：八幡総合政策部長)

### ④令和5年度のウォークブル推進事業等について(米子市から報告：資料7)

・多くの皆さんにまちづくりに関わっていただくということが必要であるとの観点から、ワークショップとシンポジウムを計画している。そこに多くの皆さんにご参画をいただいて、機運を盛り上げていきたいと思っている。(市：伊澤副市長)

➡関係事業が着実に進んでいくということがわかった。商工会議所としても主にソフト的な部分になるが、積極的に協力をしていきたい。(商工会議所：森田専務理事)

➡シンポジウムとワークショップについては、ぜひ皆さんのご協力をお願いしたい。歩いて楽しいまちづくりについては、米子の高校生や中学生も研究してくれている。このシンポジウムはその若い力も一緒になってできるような形になればいいと思う。(市：八幡総合政策部長)